



羽生市とイオン株式会社との包括連携協定締結について 住みやすいまちづくりや市民サービスの向上を目指します

埼玉県羽生市（市長：河田 晃明）とイオン株式会社（取締役 代表執行役社長：吉田 昭夫）は2026年1月30日、包括連携協定を締結します。

羽生市とイオンは、これまで「イオン羽生店」「イオンモール羽生」を中心に地場産品の販売や、イオンチアーズクラブ羽生の活動としてムジナモ保護活動を連携して行うなどさまざまな取り組みを行ってきました。

【主な連携事項】

- (1) 産業振興に関すること
- (2) 防災に関すること
- (3) 安全・安心に関すること
- (4) 環境保全に関すること
- (5) ヘルス＆ウエルネスに関すること
- (6) シティプロモーションに関すること
- (7) その他地域の活性化及び市民サービスの向上に関すること

包括連携協定の締結を契機に、今後は認知症サポートの取り組みや子育て支援関連イベント、健康イベントの実施など、これまで以上に幅広い分野で連携し、住みやすいまちづくり、市民サービスの向上を目指します。

■これまでの羽生市とイオンの取り組み例

【イオンチアーズクラブ羽生によるムジナモ保護活動】

イオンチアーズクラブ羽生では、2009年より羽生市に生息している「絶滅危惧種の食虫植物ムジナモ」の保護活動に取り組んでいます。生態学習や生息場所の宝蔵寺沼の清掃活動のほか、イオンアグリ創造が運営する埼玉羽生農場と協力して、規格外野菜の収穫・販売を通した収益金寄付の取り組みなどを実施しています。また、保護活動を周知することを目的に、イオンモール羽生での寄付金贈呈式の実施や、活動報告をまとめた壁新聞の掲示をイオンモールや市内図書館で行っています。



以 上